

## いじめを見逃さない、許さない ～市いじめ防止基本方針に基づく取り組み～

市では子ども達が安心して学校生活を送るために「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に組織的に取り組んでいます。いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こりうるものです。だからこそ正しく理解し、みんなで防いでいくことが大切です。



### 「いじめ」とは？

された側の子どもが心身の苦痛を感じたら、いじめにあたります。たとえ冗談のつもりでも相手がつらいと感じれば、それは「いじめ」です。



#### 【いじめ防止対策推進法 第二条】

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

曾於市のいじめの状況		小学校	中学校
認知件数	曾於市	128件	39件
1000人当たり の発生件数		68.0件	53.1件
	全国	101.9件	48.4件

※曾於市の数値は、令和7年4月から令和8年1月現在のいじめ発生件数。全国の数値は、令和6年度児童生徒の問題行動不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の数値を利用

### いじめに気付いたらすぐ相談!

市内でもいじめが発生しており、重大事態として調査している事案もあります。学校では未然防止対策を行い、早期発見に努めています。いじめを把握したら被害を受けた子どもを最優先に守ることを基本とし、保護者と情報を共有して早期解決に取り組んでいます。

#### ✔ 未然防止

構成的グループエンカウンターを実施し、子どもの相互理解や自己成長を促すことで、安心して過ごせる魅力ある学校づくりにつなげます。

#### ✔ 早期発見

一人一台端末を利用した「心の健康観察」を毎日実施し、月1回の定期的なアンケートにより、小さな変化を見逃さず早期発見に努めます。

#### ✔ 組織的な対応

いじめが疑われる事案があった場合に担任だけで抱え込まず、校内で情報を共有し対応方針を決定します。

#### ✔ 専門家との連携

必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関とも連携し、継続的に支援します。

### 構成的グループエンカウンターとは？

教育カウンセリングの理論と技法をベースに、特定の課題（エクササイズ）やゲーム、話し合い活動などを通して、参加者同士の信頼関係を深めたり、他者への理解を深めたりする体験型の学び。

### 家庭・地域の協力

- ✔ 急に元気がなくなる
- ✔ 学校の話をしなくなる
- ✔ 持ち物が壊れている など



いじめのサインは家庭での何気ない変化として表れることがあります。気になる様子があれば、早めに学校へご相談ください。早期の相談が、早期解決につながります。

いじめは子どもだけの問題ではありません。学校・家庭・地域が連携し、大人が本気で向き合うことで重大化を防ぐことができます。市内学校でもSNSでの投稿や拡散による誹謗中傷など新たな人権侵害が発生しています。スマホを持たせている家庭は使い方や危険性について子どもと話し合ってください。すべての子どもが安心してのびのびと学び、ともに成長できる学校にするために「そおぐるみ」で、子ども達の笑顔を守りたいと考えます。ご協力をお願いします。